

学校だより青南



5月号

令和2年5月7日

港区立青南小学校

校長 関 幸治

心を合わせて

校長 関 幸治

コロナウイルスの影響で、休業期間が再延長となりました。1か月に及ぶ臨時休校を経て、いよいよ学校再開と思っ矢先にこのような措置となりました。国内の感染状況は少しずつよくなってきているとは思いますが、まだまだ予断は許されず、安全が確保されない現状では、学校再開は先になるのも致し方ない状況です。しかしながら、6月の再開に向けもう一歩のところまで来ています。もう少しの辛抱、がんばってやり抜いていきたいと思ひます。

学校からの情報は、連絡を緊急メール配信で、細かな情報は学校ホームページで行っています。緊急メール配信の登録手続きは、4月当初に行っていました。ほとんどのご家庭で登録をいただひていますが、学校の確認不足で、連絡が届いていないことがわかりました。緊急事態にもかかわらず、このような事態を招いてしまい申し訳なく思ひます。今後このようなことが起こらないよう、確認を確実に行ってまいりたいと思ひています。

ホームページには、今までも、休業中の課題や連絡、港区からの情報等を載せています。今のところ、各家庭に情報提供できる最も確実な方法かと思ひます。11日(月)より、今までの学習と合わせ、子どもたちがより規則正しい生活ができるような工夫を各学年で行っています。また、動画も各学年、子どもたちの学習を踏まえたものになるよう制作しています。臨時休業が明けた際に、子どもたちが学校生活にすぐなじめるようにしていきたいと考えています。

先日、子どもたちに向けて、学習についての質問や、生活上で困ったことや心配なことなどがあれば遠慮なく学校に連絡してくださいと話しました。友達や、担任等、人とのかわりが薄くなっているのひ、心も不安定になってしまっているかもしれません。毎週、火曜日と木曜日にはスクールカウンセラーが勤務しています。毎日ではありませんが、各学年・専科が学校に来ている日(ホームページに載せます。)もあります。電話やメール(seinansho@minato-ky.ed.jp)でご連絡ください。

早く子どもたちの顔が見たい、一緒に活動したいという思ひを大切に、学校再開に向け、しっかり準備を行っていきたく思ひます。

「特別支援教室の通級および学習支援員の配置の申し込みについて」

発達について気になる児童を対象に、本校において通級指導を行う特別支援教室を開室しています。本校では、「せいなん学習室」と呼んでいます。せいなん学習室は、生活面や学習面の困り感の改善に向けた校内での支援を充実させるために設けられた教室です。

また、教室内での一斉指導において苦手な部分を補うために個別に支援を行う学習支援員の制度も昨年までと同様に継続します。

せいなん学習室の利用及び学習支援員の配置を新規に希望される方、すでに利用されており継続を希望される方は、6月22日(月)までに下記担当までお申し出ください。なお、お問い合わせは随時受け付けております。なお、学校再開の期日によっては変更があるかと思ひます。その際は、また改めてご連絡いたします。

【担当:各学年級担任、特別支援教育コーディネーター(篠原 緑主任教諭)、副校長】